



物価高騰対策実施を 年金・子育て世帯支援で

3月1日、議員生活最後の代表質問に立ち、知事に物価高騰対策を強化し県民生活防衛を図るよう求めました。

●一つにマクロ経済スライドの発動で物価高のもと実質的、3～0.6%削減となっている年金制度の見直しを国に提言すべしと知事の姿勢を質しました。知事は「マクロ経済スライドの制度仕組みは、制度の持続可能性を図る一定の合理性があるもの」と容認。既存の生活福祉資金などの制度やフードバンクなどでの支援に触れるにとどまりました。

●子育て世代への支援に、県下の自治体の多くが、中学生、高校生の医療費無償化を実施している中、就学前までとなっている県の制度拡充を求めましたが「国がやるべきこと」と取り合ってくれません。

また、給食費については、全国的に無償化自治体が増加し、県内でも嶺北4町村や佐川町などが実施。コロナ対策の交付金で臨時的に高知市など8市町で保護者負担なしにしていることを示し、県が学校給食費の無償化に一步でも二歩でも前進させよと質しました。

知事は「全国都道府県教育長連合会として国に対し



学校給食費等の負担の在り方について抜本的な整理を求めている」と、県としての取り組みはしない答弁でした。

●今議会に提案された予算議案の暮らしを支えることへの不十分さを補完するために、私たちは、「高齢者の生活を守るため年金制度のマクロ経済スライドの一時停止を求める意見書」議案を提出。また、コロナ感染症の5類への移行によって公費負担がなくなることを避けさせるため、「公費負担の継続及び医療体制確保を求める意見書」も提出しています。いずれも、22日最終日の本会議で可決されるよう頑張ります。



●現職最後の代表質問が終わり控室に戻ってくると、私の後を受けて県政に挑戦する「はた愛市議」
はた市議のあとを受けて市政に初挑戦「藤木まゆみ」さん
そして、市議2期目に挑戦する「島崎やすおみ市議」が勢ぞろい。勝利へ決意を固め合いました。絶大なるご支援をよろしく！



県議選・市議選
必ずバトンタッチと
勝利の決意固めました